

ロラン・コロン作・演出
『Kinosakinomatopee キノサキノマトペ』 滞在制作&世界初演
～城崎生まれのオノマトペ。摩訶不思議なボイス・パフォーマンス・ワールド～

8月に城崎国際アートセンターで予定されているボイス・パフォーマンス公演『Kinosakinomatopee キノサキノマトペ』についてお知らせする。

1 ロラン・コロン作・演出『Kinosakinomatopee キノサキノマトペ』

(1) 滞在制作

ア 期間

平成28年7月29日（金）～8月13日（土）

イ 内容・特色

- (ア) フランス人のボイスパフォーマーで、劇作家・演出家のロラン・コロンが、作・演出を務め、劇団青年団と無隣館むりんかんに所属する6人の日本人俳優が出演するボイス・パフォーマンス・プロジェクト
- (イ) 昨年10月に城崎温泉のリサーチを行い、そこで収集したさまざまな国の言語のオノマトペ（擬音語、擬態語、擬声語）を台本に用いる。
- (ウ) 音声や、音声を発話する身体と、その身体を取り巻く自然との関係性をテーマにしたストーリーが、温泉を舞台に展開する。
- (エ) 滞在期間中、作品の創作過程を公開する公開稽古と「声」についてのワークショップを行い、市民との交流を予定している。
- (オ) 城崎国際アートセンターでの滞在制作・世界初演後、東京のアトリエ春風舎しゅんぷうしゃにて公演を予定している。
- (カ) Toyooka Art Season 2016 参加事業の一つ

(2) 地域交流プログラム

公開稽古と「声」のワークショップを滞在期間中に開催する。

ア 日程

平成28年8月8日（月）午後2時～2時30分 公開稽古
 午後2時30分～4時 「声」のワークショップ
 （※ 講師：ロラン・コロン）

イ 会場

城崎国際アートセンター

ウ 申込み

電話またはメールで申し込む（代表者氏名、人数、連絡先が必要）

〔申込先〕城崎国際アートセンター

TEL 0796-32-3888（受付9:00～17:00 火曜休館）

e-mail info@kiac.jp

(3) 公演（世界初演）

ア 日時（全2回公演）

- (ア) 平成28年8月12日（金）午後7時～
- (イ) 13日（土）午後2時～

イ 会場

城崎国際アートセンター ホール

ウ 出演

根本江理、井上みなみ、鈴木智香子（以上、青年団）
西村由花、船津健太、横田僚平（以上、無隣館）

エ ポストパフォーマンストーク

各回終演後、トークを行う。

- (ア) 8月12日（金）終演後
出演： ロラン・コロン、出演者
- (イ) 8月13日（土）終演後
出演： ロラン・コロン、平田オリザ

オ 入場料

一般 2,000 円 / 学生・シニア（65 歳以上） 1,500 円 / 高校生以下 1,000 円
※ チケットは、日時指定・全席自由、整理番号付
※ 学生・シニアの方は、当日受付にて学籍、年齢を示す証明書を提示

カ チケット

- (ア) 発売日
6月18日（土）
- (イ) 申込み
 - a 城崎国際アートセンター
電話またはメール、KIAC オンラインチケット予約ページより申し込む
（代表者氏名、人数、連絡先が必要）
TEL 0796-32-3888（受付 9:00～17:00 火曜休館）
e-mail info@kiac.jp
オンライン予約 <http://kiac.jp/jp/tickets>
 - b 青年団
電話、または青年団オンラインチケット販売ページより申し込む
TEL 03-3469-9107（受付 12:00～20:00） <http://www.seinendan.org>
- (ウ) 窓口販売
 - a 豊岡市民会館
 - b 豊岡市民プラザ
 - c 城崎国際アートセンター
 - d 出石文化会館（ひぼこホール）ほか

キ 主催等

- (ア) 主催
城崎国際アートセンター（豊岡市）
- (イ) 製作
城崎国際アートセンター、有限会社アゴラ企画・こまばアゴラ劇場
- (ウ) 企画制作
青年団／会社アゴラ企画・こまばアゴラ劇場
- (エ) 助成
文化庁（平成 28 年度文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業）

〈プロフィール〉

ロラン・コロン (Laurent Colomb)

1968 年生まれ。音楽や音響詩の形態を借用した演劇的表現に主として取り組む。その表現はオノマトペに対する探求に由来しており、口語表現における不意の発声や感嘆などを用いて、演劇的身体における表現の限界を模索する。これまでフランス文化庁や国立舞台作品執筆センター、アンスティチュ・フランセ／ヴィラ九条山などの公的プログラムからの助成を受けてきた。2008 年から 2012 年まで、劇団青年団との連携のもと、『キョウトノマトペ』を制作し上演を重ねた。これは、伝統芸能である文楽から深く影響を受けた作品で、初の日本語作品でもある。パリ第 8 大学の教授として、歌による治療効果などにも関心を有している。フランス国内外における多数のボイス・ワークショップを監修。

〔問合せ〕 豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016

事業内容については

城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888